

経営比較分析表（平成30年度決算）

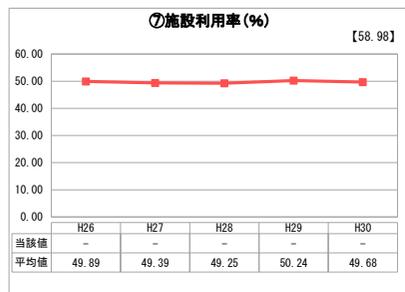
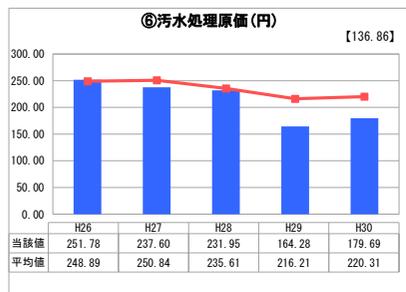
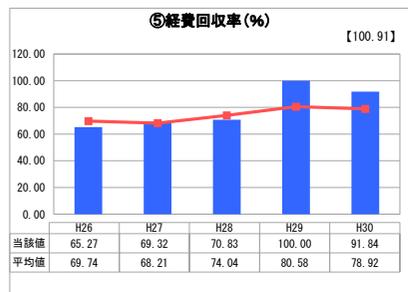
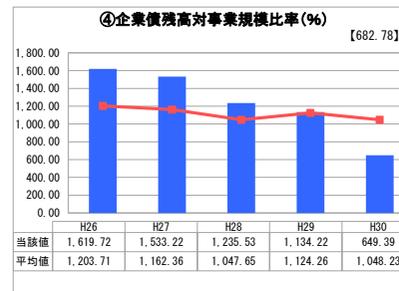
岐阜県 川辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	96.32	100.00	3,132

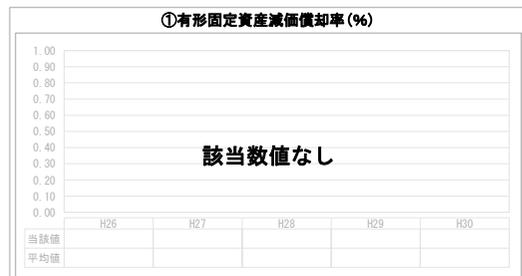
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
10,304	41.16	250.34
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
9,902	6.08	1,628.62

グラフ凡例
■ 当該団体の値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 平成30年度は前年度より悪化している。使用料収入で維持管理費の財源は賅えているものの、企業債の元利償還金のほとんどを一般会計からの繰入に頼っている。これは当面続く見込みである。
- 類似団体と比較すると低くなっているものの、今後も施設改修に係る地方債の借入が続く見込みであり、当該数値を注視していく必要がある。
- 当該年度については、使用料で経費を賅えなかったため、今後も異常発見時の早期修繕や、予防保全型の管理採用を進め、修繕費等の維持管理費の削減に努める必要がある。
- 類似団体平均を少し上回っている。
- 毎年少しずつ上昇しているが、類似団体平均を下回っているため、今後もPRをする必要がある。

以上のように、類似団体と比較して全体的に悪い数値となっているが、今後は業務内容の見直しに努め経営改善に取り組む。

2. 老朽化の状況について

- 類似団体平均を下回っている。

管渠については、平成9年度の供用開始からもうとも古い管渠で25年を経過しているが、耐用年数は50年であり直ちに更新の必要に迫られることはない。ただし、令和14年以降は修繕費用や更新費用の大幅な増加が見込まれる。今後は平成23年度に策定した長寿命化計画、平成28年度に策定した汚水処理施設整備構想、平成29年度に策定した下水道ストックマネジメント計画等をもとに、適切な施設更新を進める。

全体総括

公共下水道の経営は、類似団体と比較して全体的に悪い数値となっており、「健全・効率的」な経営改善のためには、業務内容の見直しを行う等経費の削減を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。